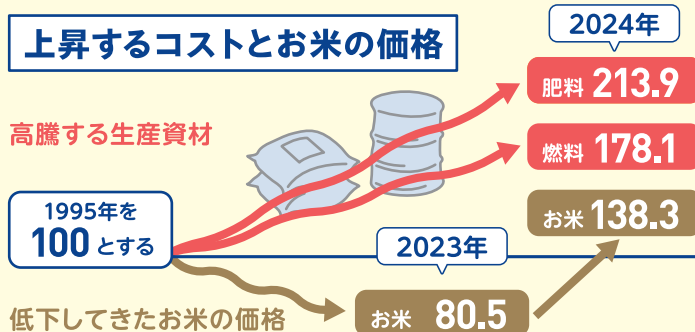




今なぜ上がる? お米の価格

お米を作るための様々なコストの上昇を反映して、
お米の価格が上がっています。

図のように、肥料・燃料など、
お米の生産に必要な資材が、
軒並み大きく値上がりしている
のです。一方、お米の価格は、
2023年までは低下傾向が続い
ていたことも分かります。
様々な物価の上昇にともない、
農家の労働費(賃金に相当)も
上昇しています。



※お米は総務省消費者物価指数(2024年12月時点)、それ以外は農水省農作物価指数(2024年平均)に基づく



専門家による
ワンポイント
解説

水田の維持や、鳥獣被害、猛暑への対策など、農業にかかる
コストも増えています。

農家の減少と高齢化で、水田の水路や畔(あぜ)の
維持・管理や、鳥獣害対策などの負担が増えています。
さらに、温暖化で雑草やカメムシなどの害虫が増えや
すく、一層の対策が必要です。しかも、暑い日が増えて
炎天下の作業時間が増えており、農業特有の負担は
増すばかりです。効率化やコスト削減も図られていま
すが、今後も生産コストは増えていくと考えられます。
様々な物価が上がる中で、「お米だけは、いつも安く
買えて当たり前」という時代ではなくなった、と言える
のではないのでしょうか。



農作業に適した時間はわずか

しかも、害虫や雑草への対策に
かかる負担が増大



農業経済学者

小川 真如先生



JAグループの
取り組み

コスト低減と効率化へ

写真のような建物を見たことはありますか?
これはJAが運営する「カントリーエレベーター」という施設です。
収穫したお米を、共同で乾燥・選別することで省力化とコスト
低減を図り、農家の負担軽減を実現しています。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

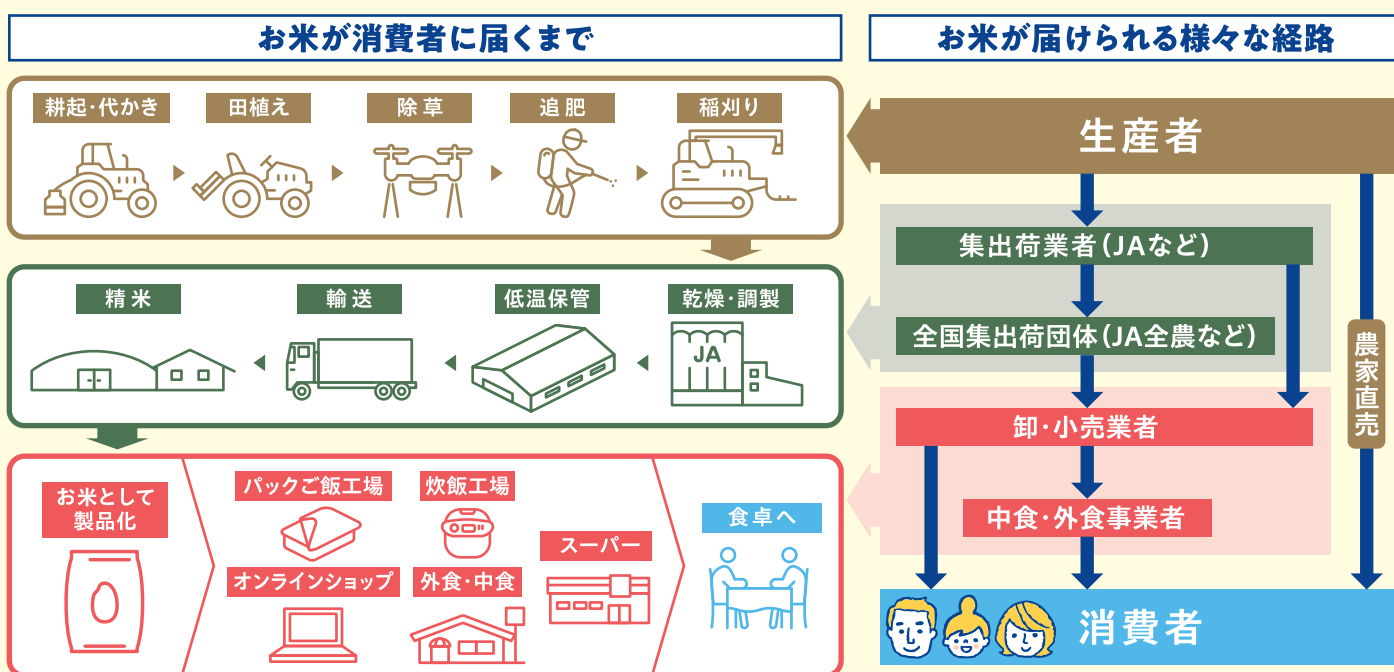


お米が急に 値上がりした理由は?

お米が流通する様々な経路の中で、お米の取り合いが起きたから。

1年がかりで収穫されたお米は、乾燥・調製・低温保管・精米など、いくつかの工程を経て出荷されます。それらを一貫して行っているのがJAです。

さらに、流通や加工などいくつかの工程を経て、消費者の元へと届きます。また、お米の流通には集荷業者、米卸、商社、小売りなど様々な経路が存在します。



専門家による
ワンポイント
解説

令和6年には、米不足の不安によって、業者の間で
お米の取り合いが起きました。

猛暑による生育不良やインバウンドによる和食の需要増加、南海トラフ地震への不安が重なり、一時的に品薄になりました。そこで、消費者や多くの業者が早くお米を手に入れたいと動きました。その結果、通常の流通ルートではないところでもお米の取り合いが起き、お米の値段が上がったのです。



農業経済学者
おがわ まさ ゆき
小川 真如先生



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ